

令和7年第23回公安委員会会議録

日 時	10月2日（木曜日） 自午後 1時30分 至午後 4時10分		場 所	公安委員会室
会 議 出席者	公安委員	甲斐委員長 野口委員 小野委員 宮尾委員 吉田委員		
	警察職員	本部長 警務部長 生活安全部長 刑事部長		交通部長 警備部長 情報通信部長

第1 定例会議

- 1 令和7年度熊本県警察柔道・剣道・逮捕術大会の開催について（警務部）
警察本部から、令和7年10月10日に「ナースパワーアリーナ熊本市総合体育館」において実施される大会開催概要について報告が行われた。

2 令和7年全国地域安全運動の実施について（生活安全部）

警察本部から、令和7年10月11日から同月20日までの10日間実施される全国地域安全運動について、運動重点のほか、

- ワルモンを活用した広報啓発活動
- 児童生徒を対象とした不審者対応訓練の実施
- 地域安全運動出発式の実施
- 金融機関や大型商業施設等におけるキャンペーンの実施

等、活動計画の報告が行われた。

公安委員から「ワルモンは予想以上にインパクトがあつて評判が良い。今後の活動計画はどうか。」旨の発言があり、警察本部から「テレビや大学の文化祭、ウォルターズの開幕戦等、多くの出演依頼があつていている。くまモンとのコラボも予定されており、YouTube等の準備も進めたいと考えている。」旨の説明があつた。

また、公安委員から「SNS型投資・ロマンス詐欺や「電話で『お金』詐欺」がなかなか減らず苦労していると思うが、被害者層の分析はどうか。」旨の発言があり、警察本部から「「電話で『お金』詐欺」は年齢層が高く、50歳以上が過半数を占めている。一方、SNS型投資・ロマンス詐欺は、30代から50代といった資産形成を考える年代にまんべんなく被害が及んでおり、「電話で『お金』詐欺」とは年齢層が大きく異なる。」旨の説明があつた。

そのほか、公安委員から、児童生徒を対象とした不審者対応訓練の実施に関し、「学校等とも連携して訓練を行い、子供たちに自らを守るすべを知ってもらうことは大変重要である。」旨の発言があつた。

第2 報告・決裁等

- 1 援助の要求の決裁（警備第二課）
- 2 荒尾警察署荒尾駅前交番の所管区域表記変更の決裁（地域課）
- 3 行政処分の実施の決裁（生活環境課）
- 4 第9回行政文書の廃棄に係る意見聴取（広報県民課）
- 5 犯罪被害者等給付金の裁定の決裁（広報県民課）
- 6 監察についての報告（監察課）
- 7 審査請求（R7. No.4）の裁決の決裁（公安委員会事務室）